

報告第 27 号

令和元年度一般財団法人宇治市福祉サービス公社事業並びに  
決算の報告について

地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和元年度一  
般財団法人宇治市福祉サービス公社事業並びに決算について、別紙  
のとおり報告する。

令和 2 年 9 月 16 日提出

宇治市長 山 本 正



2一財宇福公第 0288 号  
令和 2 年 7 月 9 日

宇治市長 山本 正 様

一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
理事長 塚原 理



2019 年度（令和元年度）一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
事業報告書及び決算報告書の提出について

上記のことについて、一般財団法人宇治市福祉サービス公社の理事会及び評議員会において別添の通り承認されましたので報告いたします。

理事会議案第1号  
評議員会報告第1号

「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2019年度（令和元年度）事業報告書」について

一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2019年度（令和元年度）事業報告を次のとおり報告する。

令和2年6月9日 理事会 提出・可決

一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
理事長 塚原理俊

※なお、令和2年6月26日 定時評議員会（第20回評議員会）にて報告済み

2019 年度（令和元年度）

# 事業報告書

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

# 2019年度（令和元年度）事業報告書 目次

## I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括 ..... 1

重点項目実施状況 ..... 2

## II 理事会・評議員会等開催状況

（1）理事会開催状況 ..... 4

（2）評議員会開催状況 ..... 7

III 役員・評議員等名簿 ..... 9

## IV 事業実績

公社独自事業 ..... 10

介護保険事業 ..... 15

障害者総合支援事業 ..... 19

宇治市受託事業 ..... 21

## I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

### 総括

公社は、2018年度（平成30年度）より財務経営環境の悪化を克服するため、「経営改革5ヵ年計画」を策定し、更に計画2年度目の2019年度（令和元年度）には、理事会の内部組織として「5ヵ年計画推進調整会議」を立ち上げ、経営指標の分析や受託事業の在り方、事業運営の効率化等、財務健全化に向けた処方について、10年、20年先の将来を見据えながら論議を進めてきた。

その調整会議の論議において、経営悪化の主たる要因の一つに、介護保険事業等の収益事業が減収傾向にある中で、現行受託事業における収支の悪化が公社全体の財務状況の悪化に影響を及ぼしていることから、理事会として初めて、設置者である宇治市長に対し、緊急財政支援と受託事業の仕様・積算方法等の改善についての要望を行ってきたところである。

このような状況の中、当期の収支決算は、収支計算書で3,350千円の黒字（前期3,300千円の黒字）、正味財産増減計算書で3,070千円の増加（前期430千円の増加）となり、財務健全化に向けて鋭意取り組む中で、結果として3期連続の減収ではあったものの、ほぼ前期並みの増益で黒字決算を確保することができた。

経営改革3年度目に向けては、これまでの取り組みをしっかりと総括し、積み残しの課題や新たな課題への修正等を整理した上で、再度計画をローリングし、財務健全化に向けた経営改革に引き続き取り組んでいかなければならない。

また、2013年度（平成25年度）からの一般財団法人への移行に伴い、責務として取り組んできた公益目的支出計画の執行についても、公益事業の赤字が想定以上に多くなり、2019年度（令和元年度）を以って予定より短い期間で完了することとなった。

そういったことから、完了後に迎える経営改革3年度目となる2020年度（令和2年度）は、改革の成否を問う大きなヤマ場、分岐点となる年度と言っても過言ではなく、そのため、「計画」の中に各年度の数値目標を設定して取り組むこととした。

具体的には、①単年度黒字5,000千円以上の確保、②収入に対する人件費の割合を78%未満に抑制、③5ヵ年計画終了後の2023年度（令和5年度）に将来に向けた経営安定化のため「財政調整基金」の設置、以上の3点を大きな目標として掲げ、それに向けた各年度の数値目標を設定した。

最後に、公社の事業運営を取り巻く情勢にまだまだ厳しさが続く中で、年度末の全国的な新型コロナウイルス感染拡大により、公社各種事業においても受託事業の休止による収入減や介護現場の心身の負担増等、これまでにない先行き不透明な状況に置かれているが、こういった大変な時期だからこそ、公社の役割や力量が改めて問われる時でもあり、役職員が一丸となってこの難局を乗り越えていかなければならない。

2020年度（令和2年度）以降においても、公社の主要事業である「公社独自事業」、「介護保険事業」、「障害者総合支援事業」、「市受託事業」の4本柱の事業をそれぞれの確に遂行するとともに、今後起こり得る様々な社会情勢の変化に適應できる事業運営を推進し、宇治市や宇治市社会福祉協議会をはじめとする関係機関や諸団体との連携・協力のもと、宇治市域における在宅保健・福祉サービスの更なる充実・向上に寄与していけるよう取り組んでいく所存である。

## 重点項目実施状況

2019年度（令和元年度）の重点項目については以下の通り取り組んだ。

### （1）経営改革5ヵ年計画に基づく財務健全化への取り組みを推進する。

2019年度（令和元年度）は、「経営改革5ヵ年計画」の2年度目で、新理事長の下、役職員が一丸となって事業運営に取り組んだ。とりわけ経営改革については、8月に理事会の内部組織として「5ヵ年計画推進調整会議」を立ち上げ、公社事業4本柱ごとに事業評価シートを作成し、担当者へのヒアリングによる実態把握も行き、経営課題の整理、分析を進めた。そして、緊急を要する経営課題についての優先順位をつけ、その中で市受託事業等の実態を踏まえた要望書を公社として初めて市長へ提出した。

更に、人材確保や多様な働き方を進めるための方法の検討、デイサービスにおける食事提供方法の見直し、総務部門における事務フローの見直し等、具体的な事業運営の効率化や公社の財務健全化に向けた処方について論議を行い、その成果を基に、理事会で「当面の方針」を決定し、その方針に基づいて、2020年度（令和2年度）の予算編成や事業計画を策定するよう取り組んだ。

各事業においても、係単位での業務の効率化、能率化に向けた業務見直しに取り組み、業務フローや書式の見直し等に取り組めた係もあったが、全体のものまでには至らなかったため、次年度に向けても引き続き取り組んでいくこととする。

介護保険事業における収入増に向けた取り組みについては、デイサービスを中心に次月の利用予定者数に基づいた収入予測を立てて、稼働率の向上等に努めた結果、実績の向上に繋がった部分もあったが、年度途中の職員の退職や休職等もあり、慢性的な人材不足は常に大きな課題となっている。引き続き総務部門と介護保険部門の各係が日々連携し、人材確保や、翌月の利用予定、過去の実績等を踏まえた予見・予測に基づく経営戦略を立てて事業経営に当たることとする。

### （2）社会情勢の変化に適應できる、より効果的な事業運営を推進する。

2020年度（令和2年度）に現行の6地域包括支援センター圏域の見直しを踏まえて、公社として他の包括受託法人に呼びかけて、現場のセンター長からの意見交換の場を設け、地域包括支援センターの抱える課題を集約し、法人間の足並みを揃えて、市に対しての提案や課題提起を行った。

公社が指定管理者となっている3つの地域福祉センターについては改修工事が行われたが、改修後の使用方法についても、公社が受託を受けて取り組んでいる生活支援体制整備事業の住民主体の活動の観点から、活用方法について市に提案を行った。

宇治市社会福祉協議会と共に取り組んできた共働プロジェクトについては、双方の組織の事情や年度後半の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、予定した合同勉強会の開催を中止する等、具体的な取り組みには至らなかった。

公益目的支出計画については、当初の計画よりも早いペースで進み、今年度で完了となった。これにより、公益目的事業である公社独自事業についても、公社の設立趣旨も十分勘案しながら見直

しを行い、次年度の事業計画に反映させることとした。

新たな公社事業としては、これまでヘルプサービス係で行っていた介護保険外サービスについて院内介助を除くものについては、福祉情報センター内に新たに立ち上げた「ほほえみサポート」で対応することになり、公社 OB ヘルパーを中心にサービス提供を行い、多様なニーズに応えることができた。また、今年度より新たな受託事業として始まった訪問による産後ケア事業についても、当初の予定を上回る利用者があり、利用者の声としても好評を得た。

一方で、介護保険事業の中で東宇治事業所の認知症対応型デイサービスについては、人員不足と稼働率の低迷により立て直しが必要となったことから、2019年11月より一旦休止とし、次年度からの再開に向けて検討を進めることとなった。

### **(3) 公明正大な組織風土、働き甲斐・働きやすさが両立する職場環境づくりを推進する。**

2018年度（平成30年度）から取り組んだ「対話重視型組織」を今年度も推進することを掲げて、事業所、係単位での取り組みを進めたが、対話ミーティングの実施等、個別の取り組みには至らなかった。

一方で、良好な職場環境には不可欠となるハラスメントのない職場づくりを推進するため、ES委員会を中心に、厚生労働省のモデル事業からの講師派遣によるハラスメント対策についての研修会を開催するとともに、全職員を対象としたハラスメントに関するアンケート調査に取り組み、「パワーハラスメント防止7箇条」を制定した。

第3期人材育成計画（2019年度～2021年度）に沿った取り組みとしては、事業所ごとのヒアリングの他、経営改革検討会議の人材確保・育成等検討部会からの提案により、リーダー層を対象とした研修アンケートの実施とそれに基づくモデル研修を実施し、次年度からの研修計画に引き継がれることとなった。

益々困難になる人材確保の現状を見据えて、経営改革検討会議の人材確保・育成等検討部会にて、職員に向けてのダブルワークに関する意識調査を行い、先ずは社内での他部門への応援体制を可能とするサポートワーク制度の導入が委員会活動からの提案で制度として構築することができた。

以上の取り組みも踏まえながら、引き続き、雇用環境の改善と公社で働く職員が日々の仕事を通してやり甲斐を感じ、互いが尊重される働きやすい職場を目指して更なる環境整備の推進に努めることとする。



## Ⅱ 理事会・評議員会等開催状況

### (1) 理事会開催状況

#### 第48回 理事会 [令和元年5月30日開催]

議案第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成30年度事業報告書(案)」について
議案第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成30年度決算報告書(案)」について
議案第3号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成30年度公益目的支出計画実施報告書(案)」について
議案第4号	「第17回評議員会の招集」について
議案第5号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 定款」の一部改正について
議案第6号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 顧問及び参与の委嘱等に関する規程」の一部改正について
議案第7号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について
報告第1号	「理事長等執務報告」について
報告第2号	「平成元年度地域力助成事業」について
報告第3号	「経営改革5ヵ年計画」の進捗状況について
報告第4号	「第三者委員の選任」について
報告第5号	「平成30年度事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第6号	「令和元年度夏季賞与、特別賞与の支給」について

#### 第49回 理事会 [令和元年6月21日開催]

議案第8号	「代表理事(理事長)及び副理事長並びに専務理事」の選定について
議案第9号	「名誉理事長及び顧問の委嘱」について

#### 第50回 理事会 [令和元年7月16日開催] (みなし理事会)

議案第10号	「第18回評議員会の開催」について
--------	-------------------

第51回 理事会 [令和元年8月9日開催]

議案第11号	「評議員の選任」について
議案第12号	「令和元年度地域力助成事業(助成団体)の採択」について
議案第13号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 経営改革5ヵ年計画推進調整会議設置要綱」の制定について
報告第7号	「理事長等執務報告」について
報告第8号	「令和元年度第1四半期収支実績」について
報告第9号	「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について
報告第10号	「令和元年6月市議会全員協議会報告における主な質疑応答概要」について

第52回 理事会 [令和元年9月26日開催] (みなし理事会)

議案第14号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第15号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について

第53回 理事会 [令和元年10月29日開催]

報告第11号	「理事長等執務報告」について
報告第12号	「令和元年度上半期収支実績報告」について
報告第13号	「経営改革5ヵ年計画調整会議の審議結果」について
報告第14号	「東宇治デイサービスセンターの事業見直し」について
報告第15号	「宇治市福祉サービス公社 第3期人材育成計画(2019年度~2021年度)」について
報告第16号	「指定管理者の候補選定にかかる要望書提出」について
報告第17号	「令和元年度冬季賞与、特別賞与の支給」について
報告第18号	「令和元年度上半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第19号	「令和元年9月市議会全員協議会報告における主な質疑応答概要」について

第54回 理事会 [令和元年12月9日開催]

議案第16号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の〈中間まとめ〉を受けた当面の経営方針（案）」について
議案第17号	「受託事業等に関する要望書（案）」について
報告第20号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の中間まとめ」について
報告第21号	「理事長等執務報告」について
報告第22号	「令和元年度決算見込み」について

第55回 理事会 [令和2年3月6日開催]

議案第18号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の〈第2次中間まとめ〉を受けた当面の経営方針（案）」について
議案第19号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 サポートワーク登録制度実施要綱（案）の制定」について
議案第20号	「第19回評議員会の招集」について
報告第23号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の〈第2次中間まとめ〉」について
報告第24号	「令和元年度の収支実績（平成31年4月～令和2年1月）」について
報告第25号	「令和2年度予算編成方針及び事業計画重点項目（案）」について

第56回 理事会 [令和2年3月25日開催]

議案第21号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 令和2年度事業計画書(案)」について
議案第22号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 令和2年度収支予算書(案)」について
議案第23号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
議案第24号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について
議案第25号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第26号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
議案第27号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第26号	「理事長等執務報告」について
報告第27号	「令和元年度収支決算見込み」について
報告第28号	「令和2年度管理職の人事異動」について
報告第29号	「新型コロナウイルスの感染防止対策及び影響等」について

## (2) 評議員会開催状況

### 第17回 定時評議員会 [令和元年6月21日開催]

議案第1号	「理事の選任」について
議案第2号	「監事の選任」について
議案第3号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 定款」の一部改正について
議案第4号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成30年度決算報告書(案)」について
議案第5号	「評議員の選任」について
報告第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成31年度事業計画書」について
報告第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成31年度収支予算書」について
報告第3号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成30年度事業報告書」について
報告第4号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 平成30年度公益目的支出計画実施報告書」について
報告第5号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 顧問及び参与の委嘱等に関する規程」の制定について
報告第6号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について
報告第7号	「理事長等執務報告」について
報告第8号	「令和元年度地域力助成事業」について
報告第9号	「経営改革5カ年計画」の進捗状況について
報告第10号	「第三者委員の選任」について
報告第11号	「平成30年度事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第12号	「令和元年度夏季賞与、特別賞与の支給」について

### 第18回 評議員会 [令和元年8月9日開催]

議案第6号	「評議員の選任」について
報告第13号	「令和元年度地域力助成事業(助成団体)の採択」について
報告第14号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 経営改革5カ年計画推進調整会議設置要綱」の制定について
報告第15号	「理事長等執務報告」について
報告第16号	「令和元年度第1四半期収支実績」について
報告第17号	「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について
報告第18号	「令和元年6月市議会全員協議会報告における主な質疑応答概要」について

第19回 評議員会 [令和2年3月25日開催]

議案第7号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
報告第19号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 令和2年度事業計画書」について
報告第20号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 令和2年度収支予算書」について
報告第21号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について
報告第22号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
報告第23号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
報告第24号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第25号	「理事長等執務報告」について
報告第26号	「令和元年度収支決算見込み」について
報告第27号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の中間まとめ等」について
報告第28号	「令和2年度管理職の人事異動」について
報告第29号	「新型コロナウイルスの感染防止対策及び影響等」について

### Ⅲ 役員・評議員等名簿

#### (1) 役員名簿（令和2年3月31日現在）

役職	氏名	備考
理事長	塚原 理俊	有識者
副理事長	奥西 隆三	宇治市社会福祉協議会会長
専務理事	栢木 利和	宇治市福祉サービス公社理事
理事	有賀やよい	医師
理事	笹部 和男	弁護士
理事	五艘 雅孝	有識者
理事	藤田 佳也	宇治市健康長寿部部長
理事	小松美恵子	有識者
理事	平田 研一	有識者
監事	服部 広志	京都銀行宇治支店長
監事	池田 正彦	宇治東福社会理事長

名誉理事長	岡本 民夫	前宇治市福祉サービス公社理事長
顧問	伊藤 義明	前宇治市福祉サービス公社副理事長

#### (2) 評議員名簿（令和2年3月31日現在）

役職	氏名	備考
評議員	岡野 英一	龍谷大学特任教授
評議員	大西 幸江	宇治市女性の会連絡協議会役員
評議員	寺澤耕一郎	宇治市民生児童委員協議会理事
評議員	太下 勝宣	宇治市健康長寿部副部長
評議員	山崎 彰	宇治市連合喜老会副会長
評議員	神野 君夫	宇治久世医師会

#### (3) 第三者委員名簿（令和2年3月31日現在）

役職	氏名	備考
委員	山北千代子	
委員	山花 啓伸	

※介護保険事業・障害者総合支援事業の利用者等に対するの第三者的な相談・苦情窓口

## 公社独自事業

＜定款第4条(1)＞ 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

＜定款第4条(2)＞ 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

＜定款第4条(10)＞ 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業



【今年度より新たに設置した公社OBヘルパーによる自主サービスほほえみサポート】

<定款第4条(1)> 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

公社会員の状況

《2019年度会員数》 賛助会員（法人会員 28団体・個人会員 74名）

情報誌の発行

公社情報誌「ぼっぼ」（各2,500部発行）を公社会員や利用者、関係機関等に配布し、知識・情報の普及啓発を行った。

◆実績

第45号（令和元年 7月発行）

第46号（令和2年 1月発行）

講師派遣

「ほほえみ介護塾」をはじめ、様々な講習会等に職員を派遣し、在宅保健福祉サービスについての知識の普及啓発を行った。

◆実績

派遣内容	派遣回数
介護塾講師	36
宇治市生活支援員（39支援員）養成講座	12

\*昨年度まで介護予防サポートセンターで行っていた介護予防出張講座については、「地域リハビリテーション活動支援事業」（通称「地域 de げんき講座」）として新たに市から受託し、市内の高齢者を中心としたグループへの出張講座を実施した。（詳細は受託事業の実績にて報告）

情報の収集と提供

公社情報誌「ぼっぼ」、公社ホームページを活用して利用者・市民に向け、公社で実施する事業の情報提供を行った。

また、インターネット上における介護関係の情報収集に努め、各職員に周知を図るとともに、事業所ブログ（年間更新86回）やFacebookやTwitter、Instagramに加えて、12月に開設したLINE公式アカウントを活用して、公社の取り組みや最新情報の発信に努めた。



## <定款第4条(2)> 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

介護保険外訪問介護サービス（自主サービス） 通称「ほほえみサポート」

介護保険法で対応できない家事支援等の利用者ニーズに対して、自主サービスとして実施した。

### ◆実績

実人数	13（介護8・障害4・産後1）
派遣回数	23
派遣時間	18.65

（院内介助）

	東宇治	ぼっぼ	計
実人数	2	6	8
派遣回数	13	39	52
派遣時間	6：15	62：35	68：50

福祉人材研修事業

### 1) ほほえみ介護塾

介護人材の確保が喫緊の課題となっている状況において、ほほえみ介護塾は自社での養成事業として重要な役割を持つ事業である。受講者数については例年並みであり、課題も多いが、今年度は7名（内2名は公社のアルバイト職員）の内、2名が入職に繋がった。

### ◆実績

実施時期	6月3日～9月13日
受講者数	7
修了者数	7
入職者数	2

### 2) 介護技術習得・介護予防ボランティア養成サービス

介護予防事業「スロートレーニング教室」「パワリハトレーニング教室」「スロートレーニング教室ミックス」「トータルぷらすコース」「あたまイキキ教室」を支援するサポーターの育成や、既にサポーターとして活躍している方々の研修の場として、健康づくりのテーマと実施事業の紹介を行った。「通いの場」等の他事業で活躍される方の参加も増えており、体験や意見交換を通じて学びを深められる機会となるよう配慮した。3月25日の企画は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策のため中止となったが、次年度以降に改めて行いたい。

◆実績

開催日	テ ー マ	参加者数
7月10日	体操しようよ～膝編～	58
9月26日	認知症の人にやさしいまち・うじを目指して	36
11月11日	健康でイキイキ！パワーリハビリテーション	21
3月25日	フレイル予防～口腔ケア編～	中止

### 3) 公社サービス利用者等リハビリサポート

リハビリ専門職が公社内外のデイサービスやケアマネジャーからの依頼を受けて、サービス利用者へ運動指導や福祉用具を含む住環境改善等のアドバイスを行った。介護予防事業での連携を含む地域包括支援センターから7件、相談支援員から1件、ケアマネジャーから3件、ホームヘルプサービスから2件、デイサービスから1件の相談があった。デイサービスへのレクリエーション支援、体操指導も行った。

◆実績

	運動指導等 リハビリ相談	福祉用具等 住環境改善相談	教室終了後 フォロー
実施回数	5	8	1

### 輝き支援事業

平成17年度から26年度までの10年間に亘り、市受託事業として取り組んできた「輝き支援2015～高齢期支援システム創造事業～」の後継事業として実施した。

#### 1) 講座

これまで開催してきた市民講座の中で、特に継続の要望の高かった「青春歌声広場」のみで開催したが、諸般の事情により年度途中の9月を以って終了することとなった。

◆実績

実施事業名	実施回数	延参加者数
青春歌声広場	6	342

#### 2) 活動支援

##### ◎ 地域の美化活動支援（ガーデニングボランティア）

西小倉地域福祉センター及び公社中宇治事業所近くの空き地（「ぼっぼガーデン」と命名）の2カ所の花壇を、ガーデニング教室から派生したガーデニングボランティアの皆さんと、春・秋の花壇の設計、植え替えを中心に、4月～11月は月2回、12月～3月は月1回管理作業を行った。

また、「ぼっぼガーデン」については府立宇治支援学校高等部の協力も得て、生徒とボランティアが協働で活動した。

◎ コーヒーボランティア活動支援

「おいしいコーヒーの淹れ方教室」の受講者が、教室で学んだコーヒーの淹れ方の技術を活かして、宇治ボランティア活動センター主催の「ボランティアマッチングサロン」の喫茶コーナーで喫茶活動を行った。

◎ 自主グループの継続支援

輝き支援事業での各種講座がきっかけとなり誕生した自主グループ、「旬菜クラブ」「楽菜クラブ」「鱈菜クラブ」「楽歩会」「旅サークル」「写遊会」「青春同好会」の定例活動を支援した。  
なお、「旅サークル」「青春同好会」については、諸般の事情により活動を終了されることになった。

◎ FOREVER FOLK in 宇治の継続

過去 12 回に亘り開催してきた「FOREVER FOLK in 宇治」のこれまでの出演者・スタッフで独立した団体として立ち上がった『宇治市フォークソング愛好会 FOREVER FOLK』の活動として、「愛好会の集い（音タイム）」を 2 ヶ月に 1 回の計 6 回開催した他、地元福祉施設、地域のイベントでの演奏活動、公社のイベント協力を実施するに当たり、会場の提供、物品の貸し出し等の支援を行った。

そして、自主団体として 5 回目の主催となる「第 17 回 FOREVER FOLK in 宇治」を 11 月 17 日に宇治市生涯学習センターで開催し、200 名近い参加者を得て終了した。

更に、京都府立山城総合運動公園太陽ヶ丘と公社とで、地域連携、協働事業としての覚書を締結し、『愛好会』との協働で太陽ヶ丘を活用した地域の魅力創出への取り組みに貢献した。

<定款第 4 条(10)> 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業

地域力助成事業

地域住民が主体となって、地域力の向上や地域福祉の向上を目指して活動している 1 団体に対して、活動を支援するために総額 800 千円の助成を行うことにより、福祉のまちづくりの原動力となる地域力の育成に寄与することができた。

◆実績

助成団体名	助成事業内容
特定非営利活動法人 認知症予防ネット	「みんなの認知症予防ゲーム」の動画配信事業 800 千円

# 介護保険事業

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第4条(4)> 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービスに関する事業

<定款第4条(5)> 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業



【100歳をお迎えのお客様をお祝いする百賀のつどい】

- <定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業  
 <定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

居宅介護支援事業

要支援・要介護の方からの相談に応じて、利用者の希望や心身の状態等を考慮した、適切な在宅または施設のサービスが利用できるよう、各種サービス事業者との連携を図り、介護及び介護予防サービス計画の作成、サービス提供の確保を行った。

◆実績

	西小倉	東宇治	広野	中宇治	計
介護支援専門員数	5	5	5	3	18
延給付管理件数	2,284	1,858	2,088	1,433	7,663
事業対象者	0	2	40	0	42
要支援1	99	161	160	164	584
要支援2	211	112	331	168	822
要介護1	832	763	637	627	2,859
要介護2	537	457	442	299	1,735
要介護3	345	186	227	67	825
要介護4	105	116	144	105	470
要介護5	155	61	107	3	326
一人当り給付管理/月	35.5	28.7	30.4	35.2	32.1

※一人当り給付管理は、予防給付等（事業対象者・要支援1・2）については1/2件でカウント

<定款第4条(4)> 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

要支援・要介護の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、排泄・食事・入浴等の身体介護や、掃除・調理等の生活援助を行った。

◆実績

			東宇治	ぼっぼ	計
* 介 護 給 付	身 体 介 護	延利用人数	425	608	1,033
		延派遣回数	5,763	8,786	14,549
	身 体・生 活	延利用人数	250	322	572
		延派遣回数	1,958	2,335	4,293
	生 活 援 助	延利用人数	613	1,261	1,874
		延派遣回数	3,751	9,722	13,473
* 予 防 給 付	予 防 介 護 I (週1回程度の訪問)	延利用人数	460	603	1,063
		延派遣回数	1,737	2,276	4,013
	予 防 介 護 II (週2回程度の訪問)	延利用人数	89	159	248
		延派遣回数	698	1,299	1,997
	予 防 介 護 III (週2回程度を超える訪問)	延利用人数	0	0	0
		延派遣回数	0	0	0
総合 事業	生活支援型訪問サービス (週1回程度の家事)	延利用人数	26	71	97
		延派遣回数	75	264	339
計		延利用人数	1,863	3,024	4,887
		延派遣回数	13,982	24,682	38,664

※介護給付は要介護1～5の方、予防給付は要支援1～2の方、総合事業は事業対象者・要支援の方を対象



【京都府理学療法士会の出張講座を受けるコーディネーター】

- <定款第4条(5)> 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業  
 <定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

通所介護事業（デイサービス）

要支援・要介護状態の方に対して、通所（送迎）による入浴、食事等の各種サービス、及びそれぞれのニーズに応じた介護、機能訓練等を提供し、利用者個々に満足してもらえるサービスの提供を行った。

認知症対応型デイサービスにおいては、宇治市内の8カ所のセンター間で、各々の課題について情報交換を行い、資質の向上を図る為の連絡会が開催され、「認知症の人にやさしいまち・うじ」の取り組みにちなんで、「れもんデイサービス」という統一名称を用いて事業を展開している。

また、家族（介護者）に対しても身体的・精神的介護負担の軽減が図れるようサポートした。

◆実績

施設区分	西小倉		東宇治		広野	計
	通常型	認知症型	通常型	認知症型	通常型	
定員	25	10	25	10	23	93
運営日数	362	310	362	184	362	
延利用人員	7,970	2,346	7,489	525	7,000	25,330
事業対象者	18	0	0	0	0	18
要支援1	87	0	82	13	70	252
要支援2	749	0	1,012	0	375	2,136
要介護1	3,691	475	2,085	12	2,540	8,803
要介護2	1,698	894	2,473	178	1,689	6,932
要介護3	851	687	1,383	228	1,415	4,564
要介護4	551	150	290	35	637	1,663
要介護5	325	140	164	59	274	962
1日平均人数	22.0	7.6	20.7	2.9	19.3	

※ 東宇治事業所の認知症対応型デイサービスについては、11月から事業を休止中



【デイサービスでのレクリエーション風景】

# 障害者総合支援事業

<定款第4条(7)> 障害者福祉サービスに関する事業

<定款第4条(8)> 障害児福祉サービスに関する事業



<定款第4条(7)・(8)> 障害者・障害児福祉サービスに関する事業

居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

◆実績

	東宇治	ぽっぽ	計
実利用者数	33	51	84
派遣回数	3,484	8,113	11,597
派遣時間	4,826:30	6,907	11,733:30

移動支援

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、外出のための移動支援を行った。

◆実績

	東宇治	ぽっぽ	計
実利用者数	3	7	10
派遣回数	498	119	617
派遣時間	251:45	132:25	384:10

障害者相談支援センター

在宅サービスを利用する障害児・者に対してサービス等利用計画が必須となっていることから、これに対応するために2名の相談支援専門員を配置して相談支援に当たった。

◆実績

	サービス利用計画作成
総件数	684
実人数	62

# 宇治市受託事業

＜定款第4条(9)＞ 在宅保健福祉サービスに関する受託事業



【千葉大学予防医学センター近藤克則教授による基調講演（健康長寿フェス2020にて）】

## <定款第4条(9)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業

### 訪問型事業

#### 1) 訪問指導事業（健康増進法に基づく事業）

40歳以上65歳未満の心身機能が低下している方を対象に、自宅に訪問し、運動指導や日常生活動作指導を行う事業である。介護保険や障害者総合支援法等で当該事業に相当するサービスを利用できる方は除外され、市の担当者が必要と判断された方が対象となる。しかし、今年度は市の担当が健康づくり係へ移行し、広報等に課題があったためか事業が生かされておらず、対象者の実績まで繋がらなかったため、市と協議・連携する必要がある。

#### 2) 訪問型短期集中予防サービス（訪問型トータルケアコース）

短期集中予防サービスの訪問型トータルケアコースのうち、運動面での支援について委託を受けた。地域包括支援センター等のケアマネジャーが作成するプランに基づき、1対象者6回のうちの運動プログラムに対して、生活課題の改善に向けた運動等の支援を行った。

◆実績 延件数 35件（実人数 9名）

### 通所型介護予防事業

#### 1) 健康倶楽部

65歳以上の市民を対象に、市が市政だよりで募集し抽選で決定した対象者に対して、運動器機能向上プログラムを中心とした一般介護予防事業「健康倶楽部」を行った。

自分の体重を活用した運動を主とする「スロートレーニング教室」、機器を使ったトレーニングで身体の動きやすさを改善する「パワリハトレーニング教室」、複合型のプログラムを有した「スロートレーニング教室（ミックス）」の3種類の教室を広野地域福祉センター等の各会場にて実施した。

今年度は、新型コロナウイルスの影響を受け2月27日以降の事業が中止となり、後期の教室が途中で終了する事態となった。そのため、参加者へ電話や郵便を利用して、状況確認やアドバイス、教室参加結果の伝達等を実施した。

#### ◆スロートレーニング教室

（実施回数） 160回 <3会場 4グループ×週1回22回、後期は各18回>

（実人数） 159名（定員各18名、欠席を見込み若干名多く受け入れ）

（延参加者数） 2,610名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数	延ボランティア数
東宇治A	33	512	40	12.8	514
東宇治B	41	674	40	16.9	499
西小倉	44	716	40	17.9	381
広野	41	708	40	17.7	461
計	159	2,610	160	16.3	1,855

#### ◆パワリハトレーニング教室

(実施回数) 239回 <2会場 3グループ×週2回22回×3クール、  
4クール目は13~14回>

(実人数) 198名(定員各15名、欠席を見込み若干名多く受け入れ)

(延参加者数) 3,339名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数	延ボランティア数
A広野	66	1,137	79	14.4	505
B黄檗	68	1,121	80	14.0	466
C広野	64	1,081	80	13.5	789
計	198	3,339	239	14.0	1,760

#### ◆スロートレーニング教室(ミックス)

(実施回数) 82回 <2会場 2グループ週1回22回×2クール、後期各19回>

(実人数) 56名(定員各20名)

(延参加者数) 1,012名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数	延ボランティア数
あいらの杜	26	493	41	12.0	170
広野	30	519	41	12.7	172
計	56	1,012	82	12.3	342

## 2) 通所型短期集中予防サービス

短期間で集中的に心身機能の向上に取り組み、生活課題を改善し日常生活への定着を目標とするサービスを実施した。パワーリハビリテーション機器を併用し、栄養・口腔ケアの内容を含む複合型のコースを2会場でそれぞれ週1回ずつ実施した。参加者は随時受け入れ、一人につき20回を1クールとし、年間各会場40回の予定で開催した。地域包括支援センター等のケアマネジャーによるプランに基づいて実施し、開始前のサービス担当者会議において、自宅での様子をアセスメントし、終了後には自宅にて終了後アセスメントを行った。(サービス担当者会議は委託料に含まれるものとされ、終了後アセスメントは、その後の指導を含めた訪問指導料を算定・請求する

ものとされている。)

今年度は、新型コロナウイルスの影響を受け2月27日以降の事業が中止となり、サービスが中断する事態となった。そのため、参加者へ電話や郵便を利用して、状況確認やアドバイス等を実施した。

また、事業の実施と併行し、昨年度の学びをもとに事業に適する対象像や他機関との連携・ケア会議を含む事業の流れ等について協議を行った。

#### ◆トータルぶらすコース

(実施回数) 72回 <2会場 2グループ 週1回各36回>

(実人数) 53名 (定員各13名)

(延参加者数) 547名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数	延ボランティア数
黄檗体育館	24	228	36	6.3	58
広野	29	319	36	8.9	113
計	53	547	72	7.6	171

#### ◆事後アセスメント (自宅にて身体機能・生活状況の確認、指導)

(実施件数) 31件 (通所型の終了者)

### 3) セルフパワリハ

65歳以上の利用希望者で、宇治市健康生きがい課で受け付け登録された方が、実施日に広野地域福祉センターへ来所してトレーニングを行う事業である。基本的に利用者の自己管理・自主トレーニングであるが、機器操作や運動方法、安全管理等を専門職員が指導した。

今年度は、新型コロナウイルスの影響を受け2月27日以降の事業が中止となり、中止案内も3月3日までで終了した。

#### ◆実績

会場	実施回数	登録者数	延参加者数
広野	84	45	3,817

※84回のうち、警報により1回、感染防止策により2回、会場での中止対応を実施

### 4) 認知症予防教室

介護予防事業として、65歳以上で認知機能の活性化に関心のある方に対して、市内の介護予防拠点施設を中心に「あたまイキキ教室」を開催し、教室に継続的(週1回22回)に参加する中で、他者との交流を深めながら、脳活性化訓練等を積極的に行い、生活の活性化を図ることを目的として実施した。今年度は平成29年度以降に参加していない方を優先的に、欠席見込みを昨年度同様とし、定員16名に対して20名程度を受け付けたが、会場によって申込み数に差がで、リピーターの多い会場や定員に満たない会場があった。

今年度は、新型コロナウイルスの影響を受け 2 月 27 日以降の事業が中止となり、後期の教室が途中で終了する事態となった。そのため、参加者へ電話や郵便を利用して、状況確認や感染症予防等のアドバイスを実施した。

◆実績

(実施回数) 123 回 <前期：3 会場×22 回、後期：3 会場×19 回>

(実人数) 104 名 (定員 16 名)

(延参加者数) 1,740 名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数	延ランティイ数
うじ安心館	19	311	22	14.1	63
ハーモニーやまはた	17	292	22	13.3	54
伊勢田明星園	16	296	22	13.5	125
リゾ宇治おおくぼ	19	288	19	15.2	59
宇治愛の郷	19	321	19	16.9	80
まごころ園	14	232	19	12.2	64
計	104	1,740	123	14.1	445

5) 脳活性化教室 (頭すこやか講座)

申込不要の認知症予防に関する講座を 3 会場で月 1 回ずつ実施した。

月ごとにテーマを決めた講話と脳活性化ゲーム・運動を毎回取り入れ、健康づくりに役立つ内容とし、テーマの中には栄養講話や口腔ケアの内容も盛り込んだ。自身の認知機能の状況を把握していきいきとした日常を過ごすきっかけに役立ててもらうことを目的に、脳の健康度チェックとしてファイブコグテストも各会場 1 回ずつ実施した。市民の関心は高く、各会場 40 名の定員を超える参加があった。

新型コロナウイルスの影響で、3 月の講座は中止となった。

◆実績

(実施回数) 33 回 <3 会場×11 回>

(延参加者数) 1,629 名

会場	延参加者数	回数	平均参加者数
東宇治地域福祉センター	443	11	40.3
西小倉地域福祉センター	595	11	54.1
うじ安心館	591	11	53.7
計	1,629	33	49.4

## 6) 地域リハビリテーション活動支援事業（地域 de げんき講座） <新規事業>

地域で介護予防に取り組むグループの活動や自主グループの立ち上げを支援する目的で、リハビリテーションの専門職等が地域の活動へ出向き、グループの要望に応じた講話や体験を提供し、介護予防の啓発や身近な地域での健康維持・増進に役立ててもらえる事業として、今年度から受託した。

市政だよりとチラシの配布等で募集し、電話で受け付けた。半数が65歳以上で構成される10名以上の登録があるグループを対象に、運動や脳活性化等の内容を提供し、実施状況の振り返りや依頼団体の把握のためのアンケートも実施した。また、グループ同士の繋がりを持ってもらえる機会として交流会も行った。

3月以降の依頼9件と交流会の予定が、新型コロナウイルスの影響で、中止となった。

### ◆実績

(実施回数) 45回 (交流会1回を含む)  
(延参加者数) 650名

## 地域包括支援センター運営事業

市からの受託事業として、市内3カ所（西宇治、東宇治南、中宇治）を拠点に、地域包括支援センターの運営事業を行った。

### 1) 介護予防支援事業（事業対象者・要支援1・2の方の給付管理）

#### ◆実績

	西宇治	東宇治南	中宇治	計
予防給付年間給付管理件数	1,817	2,599	1,546	5,962
月平均給付管理件数	151.4	216.6	128.8	496.8
総合事業年間給付件数	1,404	2,100	1,240	4,744
月平均給付管理件数	117	175	103.3	395.3

※居宅介護支援事業所への委託件数含む

### 2) 総合相談・権利擁護・包括的支援事業

#### ◆実績

相談対応の内容等	西宇治	東宇治南	中宇治	計
介護保険サービスに関すること	4,107	3,865	3,619	11,591
成年後見制度に関すること	36	78	70	184
高齢者虐待に関すること	155	389	150	694
その他の権利擁護に関すること	28	179	131	338
相談件数計	4,326	4,511	3,970	12,807
(再掲)ケアマネ支援	42	134	152	328
当年度新規実人数	580	605	548	1,733

### 3) 小地域包括ケア会議開催

#### ◆開催状況一覧

包括名	開催日	参加者数	テ ー マ
西宇治	7月26日	40	「認知症」をテーマに今後も住み慣れた地域で暮らし続けるために「本人の選択」「本人・家族の心構え」を考える
	9月27日	43	第1回目の振り返りと「成年後見制度の実情」を知ろうグループワーク
	10月25日	40	グループワーク「困難なケースに対して「連携」する事で「新しい支援」の形を創る為に自分達にできることは」
東宇治南	9月26日	46	免許返納予定だが、車がないと通院、買物等の不安な事例について
	11月18日	46	ゴミ出し場まで急な坂で危険で迂回するのも大変な事例について
	1月20日	53	電動カートに乗って馴染みのコーヒーショップに行きたい事例について
中宇治	8月1日	26	“見守りプロジェクト始動” 地域で支え合う仕組みづくり
	9月5日	27	“見守りプロジェクト始動” 地域で支え合う仕組みづくり
	12月5日	28	事例検討会（事例からの気づき・それぞれの立場で出来ること工夫していること）

### 4) 初期認知症総合相談支援事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名（社会福祉士・看護師）と補助職員1名を配置し、医療、福祉等とのネットワークを形成し、認知症の人や家族に対し、状況に応じた適切な支援を行うことと、初期認知症の特性に配慮して切れ目のない支援を提供するために、状況に応じた適切な医療、介護等との連携を図るとともに、必要となる社会資源等を構築することを目的に実施した。

7年目となる今年度は、特に認知症の人の社会参加と就労の場づくりを中心に、れもねいど加盟団体・企業の協力を得ながら事業に取り組んだ。昨年度のれもねいど加盟団体・企業対象のセミナーに続き、京都文教大学で開催している認知症当事者・家族とのグループミーティングに企業の参加も得て、意見交換を行った。

#### ① 二次予防事業該当者訪問（初期スクリーニング訪問）の実施

市内の二次予防事業該当者のうち、認知機能低下に該当する方で、市が開催する介護予防事業への参加がなかった方324名【中宇治圏域は150名】を対象に、訪問による実態の把握と、必要に応じて本人支援や家族支援に繋ぐことを目的に実施したが、その中で介護保険サービスが必要な状態の方も13名【中宇治圏域は9名】おられ、地域包括支援センターに訪問依頼し、住宅改修やデイサービスの利用に繋がったケースがあった。

#### ② 認知症対応型カフェの企画・管理

市全域のれもんカフェを12回、各圏域のカフェを24回、計36回のれもんカフェを開催する予定であったが、台風と新型コロナウイルスの影響で5回が中止となった。今年度は新しい会場での開催はなかった。



圏 域 名	開 催 場 所	開催回数	参加者数
全域	リオス横島	11	212
東宇治北圏域	カフェクラリネ・ハーモニーやはた	4	89
東宇治南圏域	カフェオーキタ・宝善院	3	51
中宇治圏域	宇治教会・Café 紀翔	3	61
北宇治圏域	小倉明星園	3	54
西宇治圏域	西小倉地域福祉センター・伊勢田明星園	3	93
南宇治圏域	とんがり山のとっぺんDE!	4	51
合 計	11カ所	31	611

### ③ 認知症初期集中支援チーム事業の実施

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の方やその家族に早期に関わるための「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に実施した。

チームは市内全域を対象として、圏域の包括等との連携により実施し、39ケース【中宇治圏域は28件】の訪問調査と介護サービス導入や、医療受診等必要な支援を行った。

### ④ 認知症を正しく理解するための連続講座の開催、認知症サポーター養成講座の調整

市民や市内の介護保険事業者、医療関係者に対して啓発事業の一環として、京都府立洛南病院副院長の森俊夫先生等を講師に、認知症を正しく理解いただくための連続講座を開催した。

全4回全ての講座を受講された方に宇治市長名で修了証を発行するとともに、希望者には宇治市の認知症事業のボランティアである「れもねいだー」に登録をいただいた。

また、れもねいだーを対象とした講座も別途開催した。

- ◆【認知症を正しく理解するための連続講座】受講者数 33名 れもねいだー登録者数 13名  
〔れもねいだー登録状況〕 登録者数：94名

	開催日	内 容
1	9月14日	認知症の医療とケア①
2	10月5日	認知症の医療とケア②
3	11月2日	認知症あんしんサポーター養成講座
4	12月8日	宇治市の認知症施策のあゆみと展望

- ◆【れもねいだー講座】 受講者数：22名

開催日	内 容
1月12日	1)「認知症の人にやさしいまち・うじを目指して」れもねいだーへの期待 2) れもねいだー活動報告 3) グループディスカッション「今、自分や自分の家族が認知症を診断されたら」

◆【認知症サポーター養成講座】

(開催回数) 43回 (受講者数) 1,329名

⑤ 認知症カフェ運営者・スタッフ研修

平成30年3月に市内に開設された京都認知症総合センターの機能強化事業として、京都府下で認知症カフェを運営している団体の運営者・スタッフを対象とした研修会を企画・実施した。

開催日	テーマ(内容)	講師	開催場所	参加者数
11月20日	京都における認知症ケアの流れと認知症カフェについて	武地 一氏 (藤田医科大学教授)	京都認知症総合センター	22
12月17日	認知症カフェ企画・運営について1	矢吹 和之氏 (認知症介護研究・研修仙台センター研修部長)	宇治市生涯学習センター	26
1月21日	認知症カフェ企画・運営について2	矢吹 和之氏 (認知症介護研究・研修仙台センター研修部長)	宇治市生涯学習センター	20
2月18日	ふりかえり～実践報告とグループディスカッション～	川北 雄一郎 (宇治市福祉サービス公社事務局次長)	京都認知症総合センター	13
3月21日	第6回認知症フォーラムin宇治 拡大講演	山田 真由美氏 鬼頭 史樹氏	宇治市生涯学習センター	

⑥ 第6回認知症フォーラムinうじの開催

「宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”」の進捗状況と「認知症の人にやさしいまち・うじ」に向けた取り組みを市民に報告する場として毎年開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、代わりに報告集を作成し、3月30日に市とともに記者発表を行った。

⑦ 宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”推進協議会の開催

“れもねいど”の事務局として、当事者、関係団体代表者等で構成された推進協議会を年3回開催した。(第4回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった)

	開催日	内容
第1回	7月1日	しごとれもん「お茶摘み編」の実施報告 今年度のれもねいどアクション実施計画について他
第2回	9月30日	しごとれもん「万願寺とうがらし編」の実施報告 各ワーキングチームの取り組みについて他
第3回	12月23日	しごとれもん「こかぶ編」の実施報告 各ワーキングチームの取り組みについて他

## 宇治市地域福祉センター指定管理事業

指定管理者として、西小倉地域福祉センター、東宇治地域福祉センター、広野地域福祉センターの施設・設備にかかる管理運営を行った。（※新型コロナウイルス感染拡大防止の3月は閉館）

### 1) テイルーム等の利用状況

#### ◆実績

	西小倉		東宇治		広野		計	
	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)
男性	3,771	3,044	3,307	3,165	798	623	7,876	6,832
女性	1,793	859	2,448	2,005	2,233	811	6,474	3,675
計	5,564	3,903	5,755	5,170	3,031	1,434	14,350	10,507

### 2) 施設の利用状況

#### ◆実績

利用区分 ※（ ）は広野での呼称	西小倉		東宇治		広野		計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
ボランティアルーム	246	4,612					246	4,612
地域交流室(会議室)	299	8,655	372	11,762	480	12,941	1,151	33,358
研修室(介護者教育室)	284	8,361	372	11,762	480	12,926	1,136	33,049
料理教室	209	4,623	113	1,900	39	744	361	7,267
計	1,038	26,251	857	25,424	999	26,611	2,894	78,286

### 3) コミュニティカフェ及び地域福祉のつどい開催

#### 【コミュニティカフェ】

開催日	場 所	内 容	参加人数
8月31日	西小倉地域福祉センター	第12回西小倉コミュニティカフェ	116
11月23日	東宇治地域福祉センター	第1回新田自主防災会合同防災訓練	50
10月14日	広野地域福祉センター	第12回広野コミュニティカフェ	170

#### 【地域福祉のつどい】

開催日	場 所	内 容	参加人数
7月21日	広野地域福祉センター	高齢者食堂	17
中止(3/7)	西小倉地域福祉センター	新型コロナウイルス感染拡大防止のため	

## 生活支援コーディネーター業務

平成 29 年度より完全実施となった地域支援事業における要支援者等に対する新たな介護予防サービスの担い手養成やその担い手による通所型サービスの創設等に向けた支援業務を行った。

### (1) 多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働に関する業務

#### ○ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議への出席、運営支援

市における第 1 層協議体である宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議が年 2 回（予定では年 3 回開催であったが、3 月に開催予定だった会議は新型コロナウイルスの感染予防のため中止）開催され、全ての会議に出席してグループワークでのファシリテーター及び当社が実施した事業について報告した。

#### ○ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）への出席

市における第 2 層協議体である宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）については、必要時に応じて出席することになっており、今年度についての出席実績はなかった。

### (2) 生活支援サービス等の担い手となるボランティアの養成に関する業務

#### ○ 宇治市健康長寿サポーター養成講座（入門編）の実施

一人暮らし高齢者など日常的なサポートが必要な方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、掃除や買い物等の生活支援や居場所等のボランティア活動等の担い手になっていただき、地域住民の暮らしを支えることや新たに地域での活動に参加いただくことを目的に、「健康長寿サポーター養成講座入門編」を 4 回シリーズで第 1 期は南宇治コミュニティセンター、第 2 期は宇治市生涯学習センターで実施した。

内 容	講 師	南宇治コミュニティセンター	宇治市生涯学習センター
■どう変わった？介護保険制度～合言葉は『お互いさま！』そんな宇治のまちを創りませんか？～	宇治市福祉サービス公社 事務局次長 川北 雄一郎	8 月 20 日	1 月 17 日
■高齢者の心と身体を理解とコミュニケーションについて学ぼう	宇治市福祉サービス公社 椎葉 幸恵子	8 月 23 日	1 月 27 日
■講演『認知症について知ろう』 ■ビデオ鑑賞『花子さん笑って』	認知症コーディネーター 兒玉 裕香	8 月 28 日	1 月 31 日
■実践発表『わがまちの身近な実践事例を学ぼう』 ■グループワーク『ご近所での助け合いを体験してみましょう』 ■修了式	■くりくま健功会 中村 啓 氏（8 月 30 日） 住民主体通所型サービス「かがやき」 前ノ園 昇 氏（1 月 31 日） ■生活支援コーディネーター	8 月 30 日	1 月 31 日

受講者数	10	18
サポーター登録	10	18

○ 宇治市健康長寿サポーター養成講座（実践編）の実施（訪問型・通所型合同講座）

宇治市健康長寿サポーター養成講座（入門編）を受講し、健康長寿サポーターとして登録された方を対象に、住民主体通所型サービスや通いの場、あるいは訪問型サービスや助け合い活動等を立ち上げていくための必要なスキルを学ぶことを目的に実践編の講座を開催した。但し、第2期講座については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2月26日以降の講座に関しては中止の措置を採った。

内 容	第 1 期	第 2 期
■「介護予防・日常生活支援総合事業について学ぼう」 ■「住民主体B型サービスやサロン活動について学ぼう」	9月17日 生涯学習センター ■生活支援コーディネーター 芦田 康雄 ■◎住民主体B型サービス… 生活支援コーディネーター 芦田 康雄 ◎サロン・Bタイプリハビリ事業… 宇治市社会福祉協議会 松尾 まみ 氏	2月10日 公社中宇治事業所 ■生活支援コーディネーター 芦田 康雄 ■◎住民主体B型サービス… 生活支援コーディネーター 芦田 康雄 ◎サロン・Bタイプリハビリ事業… 宇治市社会福祉協議会 土田 恭仁子 氏
■「介護予防体操を学ぼう」 ■見学会希望アンケートについて	9月20日 生涯学習センター ■宇治市福祉サービス公社 細川 佐理	2月13日 公社中宇治事業所 ■宇治市福祉サービス公社 細川 佐理
■「これから活動を始めるとあって大切なこと」 ■「現場実習に向けたオリエンテーション」	9月27日 公社中宇治事業所 ■生活支援コーディネーター 芦田 康雄	2月20日 公社中宇治事業所 ■生活支援コーディネーター 芦田 康雄
■「現場実習」	9月28日～10月12日	2月21日～3月3日 ※2月25日のみ実施
■「現場実習の振り返り」	10月15日 公社中宇治事業所 《実習先》◎かがやき ◎おこしやす	3月4日 公社中宇治事業所 ※中止
■「やりたい活動を見つけよう～活動団体との出会いの場～」	10月17日 生涯学習センター 《参加団体》 ◎つどいのえまり（笑舞利） ◎宇治市連合喜老会 ◎宇治市社会福祉協議会B型（地域参加型） リハビリ教室 ◎宇治ボランティア活動センター ◎宇治市福祉サービス公社介護予防サポートセンター	3月6日 公社中宇治事業所 ※中止

	※この回については、健康長寿サポーターにも広く参加を呼びかけ、受講者以外で8名の参加があった。	
--	---	--

○ 健康長寿サポーターの意見交換・勉強会の実施（つどい）

宇治市健康長寿サポーターが介護予防・日常生活支援総合事業、宇治市生活支援体制整備事業について理解を深め、住民主体型サービスの担い手の他、地域の様々な活動に参加したり、主体的に活動に取り組んでいただく意識を高めることを目的に勉強会を開催した。

内 容	日 時 ・ 講 師 等
全国各地で取り組まれている生きがい、助け合い活動について学び、日々の活動の参考にすることを目的に、公益社団法人さわやか福祉財団主催の「生きがい・助け合いサミット in 大阪」の案内を行い、参加者を募った。	9月9日 午後1時～5時50分 9月10日 午前9時～午後3時50分 大阪府立国際会議場 (参加者) 健康長寿サポーター：7名 宇治市：3名、福祉サービス公社：1名
南宇治圏域での住民主体通所型サービスの立ち上げに向けて、南宇治圏域と圏域周辺（伊勢田町）に在住の健康長寿サポーターに呼びかけ、意見交換会を行った。	1回目…2月3日 (参加者) 健康長寿サポーター：6名 宇治市：1名、公社：2名 2回目…2月17日 (参加者) 健康長寿サポーター：4名 宇治市：1名、公社：1名 時間・会場は何れも午後1時30分～3時30分、平盛デイサービスセンター介護者教育室 ※3月9日に3回目を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。

(3) 健康長寿サポーターの情報管理及び活動支援に関する業務

○ 健康長寿サポーターの情報管理

年度当初において144名の方が健康長寿サポーターとして登録され、日々地域において様々な活動を展開している。今後、地域で必要とされている活動とサポーターが希望する活動とをマッチングするため、健康長寿サポーターを対象に地域活動調査を実施した。

《健康長寿サポーター活動調査最終まとめ》

**調査経過**

第1回 4月24日に登録サポーター144名へ発送。返却締切5月10日。  
返却：112名 未返却：32名

第2回 上記未返却 32名に5月23日催促。返却締切6月10日。

返却：137名 未返却：6名 住所、電話番号不明：1名

登録継続しない：43名（住所不明含む） 登録はするが情報不要者：4名

第3回 登録継続しない場合は市へ辞退届の提出、名札、登録証書の返却が必要となるため、7月11日に49名に再度意向確認。

7月31日までに提出の無い場合は、登録を継続する意思であると解釈することにした結果、辞退届提出23名（+1名登録を承諾）、未提出25名は登録継続となる。

#### 最終登録（8月1日現在）

登録者：144名→121名（男性43名・女性78名 平均年齢71.9歳）

圏域別：東宇治北 23名（男12名・女11名） 東宇治南 20名（男5名・女15名）

中宇治 17名（男6名・女11名） 北宇治 25名（男9名・女16名）

西宇治 28名（男10名・女18名） 南宇治 8名（男1名・女7名）

#### ○ 健康長寿サポーターの継続的活動支援

宇治市健康長寿サポーターへの情報提供だけでなく、サポーター同士の情報交換を促進するための手段として、スマートフォンやLINEに関連する勉強会を設け、主体的に活動に取り組んでいただく意識を高めることを目的に勉強会を実施した。

内 容	日 時 ・ 講 師 等
LINE 入門講座 これまでの紙面による情報発信に代わって新たな情報発信方法として、スマートフォン向け無料アプリである「LINE」による発信を進めていくため、スマートフォン所有者を対象に実施した。	6月18日 午後2時～4時 公社中宇治事業所 講師：NPO 法人まちづくりねっと・うじ (参加者) 健康長寿サポーター：4名
スマートフォン講座 これまでの紙面による情報発信に代わって新たな情報発信方法として、スマートフォン向け無料アプリである「LINE」による発信を進めていくため、ガラケー所有者を対象に実施した。	9月12日・17日 午前10時～12時 公社中宇治事業所 講師：NPO 法人まちづくりねっと・うじ (参加者) 健康長寿サポーター：延 13名

#### (4) 生活支援サービス等のニーズと健康長寿サポーターとのマッチングに関する業務

##### ○ 地域資源等の情報発信

「宇治市健康長寿サポーターLINE@」を立ち上げ、登録者に対し定期的に情報発信を行った。

##### ○ 生活支援等のニーズと健康長寿サポーターとのマッチング

随時マッチングを行った。

## (5) 生活支援サービス等の立ち上げ支援に関する業務

### 【通いの場】

#### 《通いの場里庵（リアン）》

平成 31 年 4 月 19 日から NPO 法人まちづくりねっと・うじを運営母体とする住民主体通所型サービスの立ち上げに向けた支援を行い、7 月 5 日から月 2 回のモデル事業を経て、10 月 4 日に 5 カ所目の住民主体通所型サービスに移行して週 1 回実施されている。

#### 《通いの場陽だまり》

平成 31 年 1 月 9 日から月 2 回のモデル事業として始め、住民主体通所型サービスへ移行することを目指して継続支援し、10 月 9 日から 6 カ所目の住民主体通所型サービスに移行して週 1 回実施されている。

#### 《通いの場なごみ》

平成 30 年 3 月から月 2 回のモデル事業として始められているが、団体の意向で当面は現行実施回数で継続されることになった。

#### 《おこしやす羽戸山》

令和元年 5 月 14 日から月 2 回で始められているが、団体の意向で当面は現行実施回数で継続されることになった。

## (6) 健康長寿サポーター間の支援体制づくりに関する業務

### ○ 健康長寿サポーター間のサポート体制づくり（サポートガイドブックの作成等）

地域での支え合いの一つとして、身近な場所、例えば公共施設、集会所、空き家、空き店舗等を活用して、定期的に体操やおしゃべりを楽しむことで地域との繋がりが持てる通いの場（居場所）を創っていくことはとても重要である。このような取り組みは徒歩圏域で実施されることが望ましいため、更に通いの場を拡げていくことが必要である。市において通いの場づくりを進めていくことを目的に、「通いの場ガイドブック」を 500 部作成し、まずは健康長寿フェス 2020 で希望者に配布した。

### ○ 健康長寿サポーター間の支援体制づくりに向けた定期的な会合（連絡会等）の実施

健康長寿サポーターが中心となって 6 カ所において住民主体通所型サービスが実施され、それぞれの実施団体は設立されてからの年数、経過はまちまちであるが、それぞれ課題を抱えながらもサポーターと利用者が協力し合いながら日々運営されている。各実施団体の関係者に集まっていただき、それぞれの活動内容、課題等の情報交換、交流を深めながら今後の運営の参考とするために「住民主体通所型サービス実施団体連絡会」を実施した。併せて、「通いの場ガイドブック」の内容に関する意見交換も行った。



## (7) 宇治市健康長寿フェスの企画・立案、実施に関する業務

### ○ 宇治市健康長寿フェスの企画・立案、実施及び発表団体等の調整・支援

高齢者が住み慣れた地域社会の中で役割を持って、いきいきと生活するためには、高齢者が長年培ってきた優れた技術や経験、知識等の持てる力を発揮できる場や社会参加の場の確保が必要である。

また、地域住民が行っている様々な活動や各種団体の活動が、互いの活動を知り、結びついていくことで活動が更に活性化いくことが期待される。

『宇治市健康長寿フェス 2020』は、「通いの場はあなたの“よりどころ”～健康長寿の秘訣、ここにあり！～」をテーマに、地域福祉活動等に取り組まれている方々の発表・展示の他、介護予防・日常生活支援総合事業として取り組まれている住民主体通所型サービスをはじめとした「通いの場」の有効性等について学んでいただき、更にその取り組みが広がっていくことを期待して実施した。

また、「宇治市健康長寿フェス 2020」の開催を広報することを目的に、2月10日～14日まで市役所1階展示コーナーにてPR展を実施した。PR展では住民主体通所型サービスのパネル展や高齢者が利用できるサービスについて広報する他、来場者に「地域で行われている助けあい活動」「困っていること」を書き出してもらうことを行った。

更に、今回の『宇治市健康長寿フェス 2020』のPR展とフェスの開催に当たっては、健康長寿サポーターに対してスタッフ要員を募集したところ、PR展で9名、フェスで16名のスタッフ要員の申し出があり、それぞれの担当部門で活動してもらった。

## (8) 会議等への運営支援・出席に関する業務

### 【定例会議】

#### ○ 事務局会議への出席及び戦略会議の運営支援・出席

市における生活支援体制整備事業を推進していくため、宇治市、宇治市社会福祉協議会、宇治市福祉サービス公社の三者が集まったの事務局会議の他、宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議座長、副座長を交えた戦略会議に出席した。

#### ○ その他関係機関が主催する会議等への出席

退職後あるいは退職を控えセカンドライフの過ごし方を考えている人や新しく生涯学習やボランティア活動を始めたいと考えている人、また活動について悩んでいる人を対象として、培った知識や経験を活かし、こらからの過ごし方についてのきっかけとなるよう、生涯学習や地域活動、ボランティア活動に関する情報や、参加者同士の交流の場を提供するため、「はじめよう！セカンドライフ」を宇治市生涯学習センター、宇治ボランティア活動センター、宇治市福祉サービス公社の三者で年2回企画・実施した。

開催日	内容・講師	参加者数	場所
6月21日	新しい自分に出会うための一歩を踏み出す原動力 日下 菜穂子 氏（同志社女子大学現代社会学部教授）	24	宇治市生涯学習センター
6月28日	豊かな時間の過ごし方ヒント～2人のお話から～ 西永 邦枝 氏（絵手紙サークルコスモス） 波利 和雄 氏（ギコギコ・トントンくらぶ）	24	
10月3日	一緒に考えませんか、豊かなセカンドライフについて 森川 知史 氏（京都文教短期大学ライフデザイン学科教授）	28	
10月10日	豊かな時間の過ごし方ヒント～2人のお話から～ 大取 一馬 氏（宇治市健康長寿サポーター） 山岡 亮造 氏（ジャグリング研究会宇治）	31	

### 宇治市生活支援員（通称 39 支援員）養成事業

要支援認定等の高齢者に対して、掃除・買い物・洗濯等の家事のみを支援するサービスが平成29年4月から開始され、その担い手として従事できる方を養成する研修を実施した。

介護保険制度や介護サービス提供時の留意点、コミュニケーション技術、家事援助技術等39時間のカリキュラムを組み、定員20名のところ7名の方が受講し、修了された。

### カリキュラム

【講義】計19時間

開催日	講師	科目
10月9日	宇治市介護保険課 大西 恭平 氏	(1) 介護保険制度
10月11日	宇治市福祉サービス公社 川北 雄一郎	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援
10月16日	宇治市福祉サービス公社 椎葉 幸恵子	(3) 介護職の役割、専門性と多職種との連携・職業倫理
10月18日	宇治市福祉サービス公社 椎葉 幸恵子	(4) 老化の理解
10月21日	宇治市福祉サービス公社 大槻 剛	(5) 介護における安全の確保とリスクマネジメント
10月25日	宇治市福祉サービス公社 松宮 梓	(6) 生活援助の方法
10月28日	宇治市福祉サービス公社 椎葉 幸恵子	(7) 介護におけるコミュニケーション技術

【演習・実習】計 18 時間

開催日	講師	科目
10月23日	宇治市福祉サービス公社 平川 和子	(8) 生活援助の技法② ○ベッドメイキング ○車いす操作、歩行介助
10月30日	宇治市福祉サービス公社 田村 恵子	(9) 生活援助の技法① ○調理・洗濯・掃除
11月1日	宇治市福祉サービス公社 物部 凡子	(10) 生活援助の技法3 ○緊急時対応方法 ○介護職の心身の健康管理
11月6日	宇治市福祉サービス公社 瀬戸口 七恵	(11) 生活援助の技法④ ○事例検討
11月7日 ～ 11月19日		(12) 訪問介護同行実習

【振り返り】計 2 時間

開催日	講師	科目
11月20日	宇治市福祉サービス公社 椎葉 幸恵子	(13) 振り返り・修了式

脳活性化事業（歌笑会）

認知症予防事業の一環として市内 3 会場にて月 1 回開催した。2 時間のうち、前半は脳を活性化するためのミニ講座を行い、後半は季節の唱歌や年代別流行歌を歌いながら、その時代を回想する教室を企画・開催し、好評を得た。

新型コロナウイルスの影響で、3 月の講座は中止となったため 11 ヶ月間の開催であったが、参加人数は過去最高を更新し、実人数も最多となった。

◆実績

会場	男性 (延)	女性 (延)	不明	合計	定員充足率 (%)	実人数
伊勢田明星園 (定員 30 名)	51	514	0	565	171.2	91
ヴィラ鳳凰 (定員 40 名)	68	593	0	661	150.2	122
まごころ園 (定員 40 名)	34	316	0	350	79.5	69
計	153	1,423	0	1,576	130.2	282

## 宇治市福祉人材研修事業

市からの受託事業として、市内の介護保険事業者を対象とした研修を10回実施した。

### ◆実績

	研 修 名	実 施 日	参加人数
1	宇治市の行政施策とインフォーマルサービス・在宅医療における多職種連携について学ぼう	5月21日 午後1時30分～5時	56
2	「京都式ケアプラン点検」を活用した自己点検	6月12日 午後1時30分～4時30分	74
3	「認知症」パート1：認知症医療 ～今とこれから～	7月22日 午後1時30分～4時30分	38
4	「認知症」パート2：認知症ケア ～寄り添うケアとは～	8月29日 午後1時30分～4時30分	38
5	現場で実践したくなるような知識を紹介する3時間!! 「高齢者の栄養と口腔ケア」～ケア計画に活かそう～	9月19日 午後1時30分～4時30分	24
6	精神疾患の理解とそのケア ～それぞれの立場で支える～	10月16日 午後1時30分～4時30分	24
7	看取りを学ぶ ～ご本人（家族）の意思を尊重し、最期まで伴走する～	11月21日 午後1時30分～4時30分	44
8	認知症介護者家族を支える ～京都認知症総合センターにおける取り組みから～	12月19日 午後1時30分～4時30分	21
9	必要です！医療知識！ ～介護現場に求められるもの～	1月23日 午後1時30分～4時30分	52
10	利用者と介護職のための介護技術「移動介助と清潔に関する援助を学ぶ」	2月12日 午前10時～午後5時	18

## 産後ケア事業（訪問型） <新規事業>

宇治市福祉子ども部保健推進課の新規事業である産後ケア事業のうち、訪問による事業の一部を受託し、介護福祉士資格を有するサポーターを派遣した。

### ◆実績

実利用者数	17
延利用回数	114
延利用時間	166



利用者とともに 市民とともに

理事会議案第 2 号  
評議員会議案第 1 号

「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2019 年度（令和元年度）決算報告書」  
について

一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2019 年度（令和元年度）収支決算を次のとおり報告する。

令和 2 年 6 月 9 日 理事会 提出・可決  
令和 2 年 6 月 26 日 定時評議員会 提出・可決

一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
理事長 塚 原 理 俊

2019 年度（令和元年度）

# 決 算 報 告 書

（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

# 貸借対照表

令和2年3月31日 現在

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	90,094,328	94,654,868	△ 4,560,540
未収金	113,639,799	113,156,761	483,038
立替金	5,390	0	5,390
貸倒引当金	△ 710,000	△ 720,000	10,000
流動資産合計	203,029,517	207,091,629	△ 4,062,112
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
定期)京都銀行	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
<b>(2) 特定財産</b>			
公益目的特定資産	0	0	0
高齢者福祉事業基金	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	1,000,000	1,000,000	0
<b>(3) その他固定資産</b>			
建物	3,562,667	3,562,667	0
建物減価償却累計額	△ 2,401,079	△ 2,322,606	△ 78,473
建物付属設備	14,454,562	14,166,450	288,112
建物付属設備減価償却累計額	△ 10,089,446	△ 9,331,928	△ 757,518
什器備品	13,952,961	19,596,212	△ 5,643,251
什器備品減価償却累計額	△ 11,363,050	△ 16,307,776	4,944,726
車両運搬具	3,813,750	3,813,750	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 3,813,748	△ 3,813,748	0
少額減価償却資産	4,735,549	4,735,549	0
少額資産減価償却累計額	△ 4,735,549	△ 4,735,549	0
リース資産	38,185,620	24,827,760	13,357,860
リース資産減価償却累計額	△ 26,819,645	△ 23,915,376	△ 2,904,269
ソフトウェア	210,276	396,090	△ 185,814
電話加入権	305,760	305,760	0
構築物	700,000	700,000	0
構築物減価償却累計額	△ 445,086	△ 405,982	△ 39,104
一括償却資産	4,417,727	3,648,507	769,220
一括償却資産減価償却累計額	△ 3,628,587	△ 2,784,434	△ 844,153
その他固定資産合計	21,042,682	12,135,346	8,907,336
<b>固定資産合計</b>	32,042,682	23,135,346	8,907,336
<b>資産合計</b>	235,072,199	230,226,975	4,845,224



(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	60,036,138	63,844,071	△ 3,807,933
預り金	3,991,853	7,609,832	△ 3,617,979
法人税等充当金	80,000	80,000	0
賞与引当金	30,321,367	32,084,201	△ 1,762,834
流動負債合計	94,429,358	103,618,104	△ 9,188,746
2. 固定負債			
リース債務	12,095,100	1,978,428	10,116,672
退職給付引当金	60,484,022	59,637,329	846,693
固定負債合計	72,579,122	61,615,757	10,963,365
負債合計	167,008,480	165,233,861	1,774,619

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当金)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	68,063,719	64,993,114	3,070,605
うち基本財産充当額(一般)	10,000,000	10,000,000	0
うち特定財産充当額(一般)	1,000,000	1,000,000	0
正味財産合計	68,063,719	64,993,114	3,070,605
負債及び正味財産合計	235,072,199	230,226,975	4,845,224

## 正味財産増減計算書

平成31年4月01日から  
令和2年3月31日まで

全事業

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	17,606	△ 17,606
基本財産受取利息	0	17,606	△ 17,606
受取会費	414,000	474,000	△ 60,000
賛助会員受取会費	414,000	474,000	△ 60,000
事業収益	760,174,679	765,605,169	△ 5,430,490
介護保険収益	406,435,037	415,157,101	△ 8,722,064
介護予防収益	85,775,872	79,631,726	6,144,146
介護保険外収益	73,874,630	75,261,546	△ 1,386,916
利用者負担金収益	57,080,780	57,798,717	△ 717,937
福祉情報センター事業収益	480,080	846,300	△ 366,220
受託事業収益	136,528,280	136,909,779	△ 381,499
受取補助金	2,957,793	3,049,114	△ 91,321
地方公共団体等補助金	2,957,793	3,049,114	△ 91,321
受取利息配当金収益	874	835	39
受取寄付金	0	1,000,000	△ 1,000,000
雑収益	4,440,081	4,314,256	125,825
経常収益計	767,987,427	774,460,980	△ 6,473,553

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
(2)経常費用			
事業費			
役員報酬	4,224,080	4,525,800	△ 301,720
給料手当	244,339,827	250,937,819	△ 6,597,992
アルバイト賃金	208,037,415	209,905,279	△ 1,867,864
職員賞与	69,606,540	69,072,528	534,012
退職金	8,842,512	7,835,911	1,006,601
法定福利費	68,030,385	69,209,000	△ 1,178,615
福利厚生費	2,701,304	2,908,047	△ 206,743
給食材料費	8,932,082	8,599,314	332,768
会議費	0	36,018	△ 36,018
旅費交通費	435,432	695,048	△ 259,616
通信運搬費	6,656,171	6,513,456	142,715
消耗品費	6,606,410	7,498,302	△ 891,892
修繕費	2,154,518	1,845,028	309,490
印刷製本費	446,956	433,355	13,601
燃料費	3,797,974	4,052,760	△ 254,786
光熱水費	24,468,971	23,818,012	650,959
支払助成金	800,000	800,000	0
賃借料	14,237,496	13,540,135	697,361
保険料	2,605,410	2,704,515	△ 99,105
諸謝金	2,529,938	2,785,425	△ 255,487
租税公課	178,050	511,800	△ 333,750
支払負担金	506,540	547,032	△ 40,492
委託費	45,265,915	40,362,322	4,903,593
備品費	327,996	627,527	△ 299,531
手数料	353,326	246,975	106,351
使用料	2,721,056	2,747,258	△ 26,202
広告料	32,476	31,210	1,266
支払寄附金	0	0	0
雑費	7,549	1,182	6,367
貸倒損失	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
建物減価償却費	78,473	78,473	0
建物附属減価償却費	757,518	844,917	△ 87,399
構築物減価償却費	39,104	45,103	△ 5,999
什器備品減価償却費	698,516	910,422	△ 211,906
車両減価償却費	0	0	0
少額減価償却資産減価償却費	0	0	0
リース資産減価償却費	2,904,269	3,114,198	△ 209,929
一括償却資産減価償却費	844,153	1,216,170	△ 372,017
ソフトウェア減価償却費	0	74,984	△ 74,984

勘定科目名	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	1,724,240	1,800,780	△ 76,540
給料手当	2,255,688	2,240,441	15,247
アルバイト賃金	1,789,792	3,844,234	△ 2,054,442
職員賞与	563,400	606,069	△ 42,669
退職金	249,938	184,837	65,101
法定福利費	514,674	543,426	△ 28,752
福利厚生費	1,427,400	1,214,149	213,251
会議費	132,358	83,340	49,018
旅費交通費	93,340	93,020	320
通信運搬費	1,245,131	1,124,530	120,601
消耗品費	907,609	910,741	△ 3,132
修繕費	130,580	661,500	△ 530,920
印刷製本費	480,127	532,851	△ 52,724
燃料費	48,368	28,949	19,419
光熱水費	1,255,662	1,228,474	27,188
賃借料	1,469,274	1,475,647	△ 6,373
保険料	270,446	26,324	244,122
諸謝金	4,171,540	4,495,520	△ 323,980
租税公課	5,282,670	4,852,950	429,720
支払負担金	805,640	256,340	549,300
委託費	4,936,269	6,432,575	△ 1,496,306
備品費	135,831	0	135,831
手数料	203,908	1,987,428	△ 1,783,520
使用料	306,274	317,893	△ 11,619
広告料	75,675	201,850	△ 126,175
支払寄附金	0	0	0
雑費	16,676	16,476	200
貸倒損失	0	0	0
ソフトウェア減価償却費	185,814	183,708	2,106
經常費用計	764,846,686	774,419,377	△ 9,572,691
当期經常増減額	3,140,741	41,603	3,099,138

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	489,328	△ 489,328
固定資産受贈益	0	0	0
貸倒引当金戻入	10,000	0	10,000
経常外収益計	10,000	489,328	△ 479,328
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	9	0	9
貸倒引当金繰入	0	20,000	△ 20,000
経常外費用計	9	20,000	△ 19,991
当期経常外増減額	9,991	469,328	△ 459,337
税引前当期一般正味財産増減額	3,150,732	510,931	2,639,801
法人税	80,127	82,818	△ 2,691
当期一般正味財産増減額	3,070,605	428,113	2,642,492
一般正味財産期首残高	64,993,114	64,565,001	428,113
一般正味財産期末残高	68,063,719	64,993,114	3,070,605
II. 指定正味財産の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	68,063,719	64,993,114	3,070,605

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

この財務諸表は、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
建物附属設備・構築物	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定率法、平成28年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
その他の有形固定資産	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定率法によっている。
所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産	リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
ソフトウェア	定額法

#### (2) 引当金の計上基準

##### ① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、未収入金の期末残高に法人税法の規定により計算した金額を貸倒引当金として計上している。

##### ② 賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、翌期の賞与支給予定額のうち当期に含まれる支給対象期間に対応する金額を賞与引当金として計上している。

##### ③ 退職給付引当金

当社は、平成16年5月より退職金制度を確定拠出型の中小企業退職金共済制度に移行した。ただし、従来の退職金制度により計算される退職一時金の額が中退共より支給される額を超える場合は不足額が当社より補填される特約があるため、これに該当する職員については当期末要支給額から中退共よりの当期末支給額を控除した金額を退職給付引当金として計上している。

#### (3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。但し、リース契約1件当たりのリース料総額が300万以下の取引等については賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定財産				
公益目的特定資産	0	0	0	0
高齢者福祉事業基金	1,000,000	0	0	1,000,000
小計	1,000,000	0	0	1,000,000
合計	11,000,000	0	0	11,000,000

### 3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

基本財産及び特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
京都銀行 定期預金	10,000,000	0	(10,000,000)	-
小計	10,000,000	-	(10,000,000)	-
特定財産				
高齢者福祉事業基金	1,000,000	0	(1,000,000)	-
小計	1,000,000	-	(1,000,000)	-
合計	11,000,000	-	(11,000,000)	-

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	3,562,667	2,401,079	1,161,588
建物附属設備	14,454,562	10,089,446	4,365,116
構築物	700,000	445,086	254,914
什器備品	9,683,215	7,093,304	2,589,911
車両運搬具	3,813,750	3,813,748	2
リース資産	38,185,620	26,819,645	11,365,975
ソフトウェア	24,320,708	24,110,432	210,276
合 計	94,720,522	74,772,740	19,947,782

注) 什器備品の取得価額は地方公共団体補助金による固定資産圧縮額4,269,746円を控除した後の金額である。

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	記載区分
社会福祉法人等利用者負担減額金	宇治市	0	17,793	17,793	0	一般正味財産
キャリアアップ助成金	京都労働局	0	760,000	760,000	0	一般正味財産
障害者雇用安定助成金	京都労働局	0	480,000	480,000	0	一般正味財産
特定求職者雇用開発助成金	京都労働局	0	1,700,000	1,700,000	0	一般正味財産
合 計		0	2,957,793	2,957,793	0	

6. その他

該当なし

## 貸借対照表に関する注記

実施事業資産は、次の通りである。

(単位：円)

項目	金額
実施事業資産	0



## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に内容を記載しております。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	720,000	710,000	0	720,000	710,000
賞与引当金	32,084,201	30,321,367	32,084,201	0	30,321,367
退職給付引当金	59,637,329	3,887,592	3,040,899	0	60,484,022
小 計	92,441,530	34,918,959	35,125,100	720,000	91,515,389

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、仮払金、未払金、預り金、仮受金及び法人税等充当金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	94,654,868	90,094,328
未収金	113,156,761	113,639,799
仮払金	0	0
立替金	0	5,390
合 計	207,811,629	203,739,517
未払金	63,844,071	60,036,138
預り金	7,609,832	3,991,853
仮受金	0	0
法人税等充当金	80,000	80,000
合 計	71,533,903	64,107,991
次期繰越収支差額	136,277,726	139,631,526

正味財産増減計算書内訳表  
 一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	実施事業等会計				その他会計				法人会計	内部取引 控除	合計	
	公1 地域活動推進 事業	公2 福祉情報 センター	公3 介護予防サ ポートセンタ ー	小計	他1 介護保険事業	他2 配食サービス	他3 地域包括支援 センター	他4 地域福祉 センター				共通
I 一般正味財産増減の部	特定寄付											
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息												
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	414,000	0	414,000	0
利用会員受取会費												
賛助会員受取会費												
事業収益	0	16,044,411	38,535,698	54,580,079	584,553,049	0	118,639,702	22,255,173	0	1,141,876	0	780,174,879
介護保険サービス収益				0	406,435,037							406,435,037
介護予防給付収益				0	38,429,054		49,346,808					87,775,872
介護保険外サービス収益		9,125,487		9,125,487	64,749,143							73,874,630
利用者負担金収益		140,975		140,975	56,839,805							57,080,780
福祉情報センター事業収益		480,080		480,080								480,080
委託事業収益		6,297,889	36,535,868	44,833,537			69,282,894	22,255,173	146,876	0	0	136,528,280
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方公共団体補助金				0								2,957,793
受取利息配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	874	0	0	874
受取利息配当金収益				0								874
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金				0								0
雑収益	0	9,828	6,500	16,328	2,146,185	0	610,600	0	732,887	3,485,672	0	4,440,081
雑収益		9,828	6,500	16,328	2,146,185		610,600		732,887	3,485,672		4,440,081
経常収益計	0	16,054,239	38,542,168	54,586,407	566,699,234	0	119,250,302	22,255,173	732,887	768,937,598	0	767,987,427

科目	実施事業会計					その他会計					内部取引 控除	合計		
	雑1					雑2							小計	
	公1	雑1	雑2	小計	他1	他2	他3	他4	共通					
(2)経常費用	0	2,353,210	30,957,335	40,292,872	73,603,417	503,741,080	0	110,981,106	22,255,173	23,587,806	860,564,945	0	754,163,362	
事業費														
役員報酬	88,889	444,849	173,886	711,424	3,394,889	3,394,889	0	177,866	0	0	3,312,556	0	4,224,080	
給料手当	906,276	13,691,475	18,650,259	33,154,006	762,780,697	762,780,697	0	48,476,394	0	0	211,165,691	0	244,339,827	
アルバイト賃金	0	6,028,321	6,905,373	12,933,694	180,999,852	180,999,852	0	8,199,873	6,504,689	0	193,103,721	0	208,037,415	
職員賞与	225,360	3,124,931	5,503,385	8,853,676	48,444,766	48,444,766	0	12,306,078	0	0	60,750,864	0	69,806,540	
退職金	96,976	607,970	654,959	1,369,905	8,284,708	8,284,708	0	1,107,969	0	0	7,477,719	0	8,842,512	
法定福利費	203,970	3,657,750	4,692,702	7,745,731	48,956,179	48,956,179	0	19,895,478	0	0	60,851,664	0	68,030,385	
福利厚生費	0	34,990	178,600	253,590	1,373,628	1,373,628	0	293,474	54,000	128,796	2,447,714	0	2,701,304	
給食材料費	0	0	0	0	2,893,692	2,893,692	0	0	0	0	2,893,692	0	2,893,692	
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
旅費交通費	18,899	6,800	6,800	22,200	161,330	161,330	0	246,172	3,998	3,998	413,432	0	435,432	
通信運搬費	461,706	226,760	226,760	690,466	3,893,826	3,893,826	0	1,301,789	244,897	801,294	5,955,705	0	6,955,711	
消耗品費	170,725	133,826	364,553	4,413,356	602,741	1,133,754	0	0	0	0	6,301,664	0	6,906,410	
修繕費	9,000	8,020	8,020	17,620	809,061	809,061	0	11,600	608,130	710,207	2,136,888	0	2,154,518	
印刷製本費	81,982	20,251	20,251	101,333	217,512	217,512	0	31,766	28,226	7,667	349,613	0	446,956	
燃料費	65,432	771,888	771,888	836,865	2,781,246	2,781,246	0	147,082	0	32,798	2,991,106	0	3,797,974	
光熱水費	800,000	0	0	0	0	0	0	8,654,633	15,634,338	24,468,971	24,468,971	0	24,468,971	
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
賃借料	1,521,011	1,592,967	1,592,967	3,113,977	6,069,710	6,069,710	0	1,510,021	22,369	1,521,424	11,129,624	0	800,000	
保険料	123,997	314,570	314,570	438,567	1,834,462	1,834,462	0	346,131	0	186,280	2,168,833	0	14,237,486	
贈謝金	29,700	637,432	1,000,000	1,667,132	6,682	6,682	0	856,124	0	0	862,806	0	2,605,410	
租税公課	0	0	0	0	190,689	190,689	0	28,990	0	0	176,050	0	2,529,938	
支払負担金	4,000	8,000	8,000	12,000	157,040	157,040	0	311,500	6,010,535	9,111,861	45,236,069	0	178,050	
委託費	29,849	116,598	21,528	138,096	70,092	70,092	0	119,908	0	0	189,900	0	566,540	
備品費	1,100	26,380	13,027	38,507	176,826	31,077	0	106,702	214	106,702	314,319	0	327,996	
手数料	1,100	26,380	13,027	38,507	176,826	31,077	0	106,702	214	106,702	314,319	0	353,328	
使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,721,056	
広告料	32,476	32,476	32,476	32,476	0	0	0	0	0	0	32,476	0	32,476	
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	7,379	7,379	7,379	7,379	170	170	0	0	0	0	170	0	7,549	
貸倒損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
貸倒引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
建物減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
建物附属設備減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
構築物減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
什器備品減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
車両減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
少額減価償却資産減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
リース資産減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一括償却資産減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ソフトウェア減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
管理費														
役員報酬														
給料手当														
アルバイト賃金														
職員賞与														
退職給付費用														
法定福利費														
福利厚生費														
会議費														
旅費交通費														
通信運搬費														
消耗品費														
修繕費														
印刷製本費														
燃料費														
光熱水費														
賃借料														
保険料														
贈謝金														
租税公課														
支払負担金														
委託費														
備品費														
手数料														
使用料														
広告料														
支払寄付金														
雑費														
貸倒損失														
ソフトウェア減価償却費														
経常費用計	0	2,353,210	30,957,335	40,292,872	73,603,417	503,741,080	0	110,981,106	22,255,173	23,587,806	650,564,945	0	764,846,686	
当期経常増減額	0	△ 2,353,210	△ 14,903,086	△ 1,750,704	△ 19,007,010	62,958,174	0	8,269,196	0	△ 22,854,719	49,372,651	△ 28,224,900	0	3,140,741

科 目	実施事業等会計					その他会計					繰入会計	内閣取引 控除	合計		
	公1	継1	継2	小計	他1	他2	他3	他4	共通	小計					
2. 経常外増減の部															
(1) 経常外収益															
固定資産売却益				0	0										0
固定資産受贈益				0	0										0
貸倒引当金戻入				0	10,000										10,000
経常外収益計	0	0	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000
(2) 経常外費用															
固定資産除却損															0
貸倒引当金繰入															0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000
繰引前当期一般正味財産増減額	0	△ 2,353,210	△ 14,903,096	△ 1,750,704	△ 18,007,010	62,988,174	0	8,269,196	0	△ 22,854,719	0	△ 22,854,719	0	△ 25,224,909	3,150,732
法人税				0	0									0	80,127
当期一般正味財産増減額	0	△ 2,353,210	△ 14,903,096	△ 1,750,704	△ 19,007,010	62,988,174	0	8,269,196	0	△ 22,854,719	0	△ 22,854,719	0	△ 25,305,036	3,070,605
一般正味財産期首残高					0									64,993,114	64,993,114
一般正味財産期末残高	0	△ 2,353,210	△ 14,903,096	△ 1,750,704	△ 19,007,010	62,988,174	0	8,269,196	0	△ 22,854,719	0	△ 22,854,719	0	38,688,078	68,063,719
指定正味財産増減の部															
当期指定正味財産増減額				0	0										0
指定正味財産期首残高				0	0										0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	0	△ 2,353,210	△ 14,903,096	△ 1,750,704	△ 19,007,010	62,988,174	0	8,269,196	0	△ 22,854,719	0	△ 22,854,719	0	38,688,078	68,063,719

# 監査報告書

令和2年5月26日

一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
理事長 塚原理俊 様

監事

池田正彦

監事

服部元志

私たち監事は、法令及び当公社定款の規定に基づき、一般財団法人宇治市福祉サービス公社(以下「当公社」という。)の2019年度(令和元年度)平成31年4月1日から令和2年3月31日までの監査を実施したので、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事からその職務の執行状況についての報告を聴取し、また、当公社の事務所において、帳簿並びに重要な書類等を閲覧するとともに、事業報告等及び計算書類等並びに公益目的支出計画実施報告書を受領してその説明を受け、これらについての検討を行いました。

## 2. 監査の結果

### (1)事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、当公社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2)計算書類及びその付属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書の監査結果

- ① 計算書類及び付属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書は当公社の財産、損益及び公益目的支出計画の実施の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上